

地域に開かれた組織づくりへ

東はりま甲南会報

号外

水野氏特別講演会に150人

第23回総会 史上最高の盛り上がり

東播磨甲南会の第23回総会が6月6日、加古川市の加古川プラザホテルで開催された。観会者は甲南学園や同窓会本部関係者、各地甲南会からの来賓をはじめ、会員あわせて約50人が出席。2020年の東京オリンピック・パラリンピック組織の立役者となった元招致委員会の副理事長(CEO)でミスノ(株)会長の水野正人氏(東京甲南会会長、S41経)を招いた特別講演会には、地域の人も含め150人を越える聴衆が詰めかけ、東播磨甲南会始まって以来の盛況となった。



東播磨甲南会では、三宅隆宏会長(S41宮)、東山隆博幹事長(S62文)の体制になって3年目、甲南学園から古沢英成理事長をはじめ、各地甲南会(東京、阪神、明石、三木、姫、北但)からの来賓を迎えた。

総会では、三宅会長が「地域への甲南会PRを目指し、講演会はビッグゲストを迎え、一般の方にもお声掛けして聞きます」と挨拶。3月に満60歳で亡くなった森滋郎名誉会長の功績に触れ「森先生の教えを実践し、甲南の絆を強いものにしていきたい」と語った。続いて、前年度の事業・会計報告と新年度の事業計画・予算案がいずれも満場の拍手で承認された。

特別講演会は今回、一般に無料開放したところ、東京五輪への関心に、水野人氣もあり、150人を超える人で会場が埋まった。



水野正人氏

聴衆の心をつかむ巧みな話術に、一般聴講者らは「招致活動の舞台裏が聞けた」「五輪開催の意義が分かった」と大喜び、甲南は素晴らしい人脈のあ

水野氏は「2020大会レガシー(遺産)と甲南100年にむけて」と題して講演。冒頭、「ボクは甲南、世に『甲南漬け』と呼ばれるボンボンです」と、甲南をアピールしながら笑いを誘った。世界情勢で気になることとして、環境・感染症・経済の英語の頭文字をとって「3つのE」を挙げ、「これからの世界情勢のカギ」と指摘した後、五輪の話題へ。ビデオ上映を交え、招致活動やメーソンスタジアムの建設について語った。

招致の際に滝川クリステルさんのスピーチで話題になった「おもてなし」については、他人の施しに礼を述べた時に「マイ・ブレイジャー」と言われた海外での体験を紹介。どういったしまでの意味だが、本質は「私の喜び」ということ。オリンピック、パラリンピックは東京でなく、「日本で」開かれる。多くの人が海外から訪れるが、マイ・ブレイジャーの精神を広めて迎えたい」と話した。また「大切なのは開催することではなく、そのあと、五輪のレガシー(遺産)をどう、次の世代に伝えていくかが問われていることを忘れないで」と力強く訴えた。

発行
東播磨甲南会
[事務局]
〒675-0017
加古川市野口町南陽
385-11
行政士澤本事務所
澤本武典 所長
TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail
sawamoto@gyooei.or.jp

来年度総会の御案内

日時◎2016年6月4日(土)午後5時より
会場◎加古川プラザホテル



古沢英成理事長

古沢理事長が「2019年の学園創立100年に向け、『甲南インフイニティ』と名付けた学友・学生会館エリア開業の記念事業を紹介。『100周年記念募金活動にご協力を』と訴えた。今年は過去最多となる9人の新会員を迎え、参加者全員で世代を超えた交流を築き上げた。



第23回東播磨甲南会総会・懇談会

る大学ですわ」などの声も寄せられた。続いての懇談会では、来賓挨拶に立つた

森名誉会長お別れ会

精神医療に捧げた生涯

300人が業績しのぶ

甲南大学同窓会東播磨甲南会
の名譽会長、医療法人連勝会の
元理事長で、今年3月に満90歳
で亡くなった医師森滋郎氏（S
10旧理）をしのぶ「故森滋郎先生
お別れ会」（送別会、東加古川病
院主催）が6月29日、加古川市の
加古川プラザホテルで開かれた。
森氏の足跡の大きさを示すよう
に、医療から政治、経済、教育
の分野をはじめ、ロータリーク

ラブやボーイスカウトなど各界か
ら約300人が出席し、精神医学
に捧げた森氏の生涯をしのんだ。
森氏は、1916年姫路生まれ、
旧制甲南高校（現甲南大学）理科
医進課程を経て、大阪帝大（現大
阪大学）医学部を卒業。ノモンハ
ン事件のあった1939年に軍医
となり、旧満洲に従軍した。戦後、
東播磨の精神保健医療の拠点とし
て医療法人連勝会東加古川病院を
設立。理事長、院長とし
て96歳まで現役で診
療を続けた。

■平生イズムを実践

兵庫県精神医療分
野で要職を務める一方、
社会奉仕活動にも尽力。
ロータリークラブでは
2680地区ガバナー
を務め、ボーイスカウ
ト活動にも協力を惜し
まなかったほか、東播磨
甲南会では1991年の
設立以来21年にわたり
会長を務めるなど、平
生イズムのすばらしさ
を身をもって示した人
だった。ここ数年は体
調がすぐれず、3月24
日に息を引き取られた。

■東播磨甲南会を牽引

お別れ会では冒頭、森氏の生涯
を紹介する映像が流れ、「今でい
いのだ、これでもいいのだと思う反
面、今でいいのか、これでもいいの
か」と涙み続けた若き日の逸話が
紹介された。弔辞では2人が築き
上げた、精神科病院協会の長
尾卓夫会長が、精神障害者の社会
復帰に尽くした業績を称えて「精
神医療を取り巻く環境は厳しいが、
慈愛に満ちた心で見守ってくださ
い」。続いて、三宅隆宏東播磨甲
南会会長が甲南の絆を中心に思い
出話を披露し、「思い立った時が最
高の時、今を大切に行動せよとい
う先生の大好きな言葉を自分に言
い聞かせ続けている。甲南学園創
設者・平生三郎先生の『世界に
通用する紳士たれ』という言葉を
しばしば引用され、リーダーとし
てあるべき姿を私たちにお教え頂
きました。生前の温かいご指導に
心から御礼申し上げます」と述べた。
緑威にあたる森喜朗元首相から
の弔電もあり、最後は出席者全員
が献花。渡海紀三朗元文部科学大
臣、加古川市から岡田康裕市長を



弔辞を述べる三宅会長



はじめ歴代市長ら各界重鎮、そし
て甲南学園、大学同窓会事務局、
東播磨甲南会会員らも参列し、祭
壇の遺影に手を合わせた。

新会員紹介（敬称略）

- 故藤吉昭（S40 宮）
- 尾西 誠（S41 宮）
- 堀田進樹（S62 法）
- 三兄弟商事（株）専務取締役
岡本勝也（S63 宮）
- 住友生命明石支社
住野俊樹（H2 宮）
- 大日本印刷（株）
佐伯謙作（H8 宮）
- 播磨町役場
日坂祐介（H12 宮）
- （有）プロッサム
藤田貴子（H17 文）
- フリーアナウンサー
森 正英（H26 F S）
- 森ソフトウェア研究所所長

■事務局

〒675-0017

加古川市野口町良野385-11

行政書士澤本事務所 澤本武司 気付

ゴルフ大会参加者募集

今年も恒例のゴルフコンペを開催します。兵庫県内きっての“ゴルフどころ”
で知られる播磨の名コースで、晩秋の一日を一緒に楽しみましょう。

日 時：2015年11月11日（水） 9:30 スタート予定
場 所：加古川ゴルフ倶楽部（加古川市上荘町井ノ口925）
会 費：22,000円（プレイフィー、懇親会費含む）
申込先：090-5058-4815（澤本武司・H6 理）
※詳細が決まりましたら、御案内を差し上げます。

東播磨甲南会

TEL 079-421-1747

FAX 079-439-2842

E-mail sawamoto@gyosei.or.jp

